# 時事新報

## 我商法會議所に望む所あり

西洋文明の諸國には全國各都會にChamber of Commerce（チャムバー・オフ・コムメルス）即ち商法會議所と稱するものあり智識あり財産ある獨立獨行の紳商が時の商法を論議して其商業社會一般の意見を代表するの場所にして商法上に關する當會議所の意見は官民に對して信用も厚く勢力も大なるが故に政府は各國との通商條約又は商業上の諸規則類を始めとして都て商法に關するものは一應之と照會して其意見を問ふと常とし又會議所の方よりても時々商業上の問題を撰んで夫れ〲其意見を附し之を世に公にして商業社會一般の注意を促し又其便利を謀ると爲り誠に有益有用のものにして我國の如きも亦稍之に類するものあり即ち商工會と云ひ又何々會議所と云ひ其名は異なれども要するに西洋の商法會議所に倣ひたるものより外ならず從來の例を以てすれば此種の會議所が官民に對する信用は未だ甚だ厚からず其勢力も亦甚だ微弱なりと雖も近來不景氣回復策と云ひ條約改正案と云ひ商政上の大問題と求めて之と討議したるともあり又其後に或は政府の諮問に應えて會議所の意見を復申する等の場合もなりて次第に其頭角を現はすもの丶如し斯くて此順序を追て着々進歩し商業社會の木鐸と以て自任するときは追々世の信用を增し隨て其勢力を加へて終には西洋諸國の商法會議所と其效力を均ふするに至ることもあらんかと我輩の甚だ希望する所なり夫れに就き聊か一言することありと申すは近來世上紛々として鐵道其他の事業を發起する者あり手を擧げて資本家を麾けば資本家は爭ふて之れに應じ何の造作もなく假の株券を製造して之と所有すれば券面百圓に付き僅かに一二圓を拂込みたるのみにて其價は忽ち四五割方も騰貴し隨て事業と起すものなれば隨て資本を投ずる者あり又傍より其株を賣買するものありて今日は恰かも株券狂の世の中と爲りされども是れ將さに經濟上の常態と云ふ可きか歐米各國の事例よて全國の人心一時鐵道事業に傾き資本を此一事業に集めたる後には往々恐慌と來すを常とする處より按すれば今日我國の商勢は恰かも彼の恐慌の準備中に在るには非ずやと少しく掛念なきを得ず特に我國の鐵道事業は歐米諸國と稍其例を異にしてレール其他鐵道の材料と海外に求めざる可らざるが故に其材料費として多額の金を海外に輸出する等の事情もあり斯くて我國の鐵道成りて今の資本家が空想するが如く果して幾割幾分の利益あれば實以て結構なれども空想遂に空にして思ひの外に利益なく或は意想外の不利益を生ずる等の凶運に會ふたらんには一朝落ちて天下忽ち秋風を起し一方の事業の敗鬪に接して他の事業に從事せる者も亦皆な願望逡巡して果ては所謂恐慌の惨狀を呈し又々不景氣の上塗を爲すが如きことはなきや是れ實に未來の一大疑問にして商業社會の智識あり經驗ある人々は豫め其因果の關係を講究して大に世人を警戒す可き筈なるに我商法會議所に於ては漠然として未だ此等の問題に着眼せざるが如きものは果して何等の不注意ぞや我輩の甚だ痛惜する所なり又聞く所に據れば我政府にては目下鐵道條例編成中なりと云ふ鐵道條例は西洋各國にも其例多きとあれば我國にて之を編成するには大要これを折中すると以て十分なり唯々其向きの委員に任じ置きて可なからんなどの說もあらんかなれども我國には亦自ら我國の事情もなりて例へば私立鐵道運賃の最高額を何程と定む可きや郵便及び軍事の爲めには政府は鐵道會社に對して何程の義務に任せしむ可きや政府にて之と買上ぐる時の規約は如何す可きや近年獨逸にては職工等の便を謀りて特に四等列車を設けしめたりと云へども我國にては此等の必要なきや私立鐵道會社に政府の干渉する區域は如何す可きや等の問題に就きては會議所は夫れ〲の調査を遂げ其意見を附して之を其向きの人に示し或は又世論にも問ふて商業社會の木鐸たるの任を盡さゞる可らず試に看よ世の詩文を以て鳴るものは好題目を得る毎に忽ち之を詠歎して其技倆を顯はすに非ずや我商法會議所の人は目下世に前陳の如き商法上の好問題あるにも拘はらず之を默々に附する時は將さ何れの日を以て其信用勢力を增すとを得べきや我輩は我商法會議所の人が時に及んで右等の問題を討究し其商業社會に對するの義務を盡すと同時に斯かる機會に乘じて次第に其勢力を增し着々進んで西洋諸國の商法會議所と其肩を比ぶるに至らんとを偏に希望して已まざるなり

## 官報

各官廳

○内閣訓令
閣令第九號發布當日以前ニ辭職シタル官吏ハ本令ヲ適用スルノ限ニアラス
明治二十年四月廿六日　内閣總理大臣伯爵伊藤博文

○東京府令第十九號
明治十九年度地方稅支出收入追加豫算常置委員會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム
明治二十年四月二十六日　東京府知事高崎五六
一金二百十三圓二十九錢四厘　明治十九年度地方稅支出追加豫算
内
金百七十四圓八錢五厘　區部支辨
金三十九圓二十錢九厘　郡部支辨
府會議諸費
内
金五十二圓四十錢　給料
金百六十圓八十九錢四厘　雜費
一金百七十四圓八錢五厘　明治十九年度區部地方稅收入追加豫算
但明治十九年度豫算額ニ對シ實收過　家屋稅
一金三十九圓二十錢九厘　明治十九年度郡部地方稅收入追加豫算
但明治十九年度豫算額ニ對シ實收過　戸數割

○東京府令第二十號
自明治十八年度至明治十九年度區部共有金支出追加豫算常置委員會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム
明治二十年四月二十六日　東京府知事高崎五六
一金四万千八百十七圓六十一錢八厘　自明治十八年度至明治十九年度區部共有金支出追加豫算
内
金四万千八百十七圓六十一錢八厘　吾妻橋架換費繰替　明治十九年度支出額

○東京府達第三十三號　郡區役所　戸長役場
土地分合筆取扱手續左ノ通心得ヘシ
明治二十年四月二十六日　東京府知事高崎五六
第一條　一筆ノ土地ヲ分割シ二筆以上ノ土地ヲ合併セントスル者ハ其反別地價及野取圖ヲ添ヘ區ハ區役所ニ郡ハ戸長役場ヲ經由シ郡役所ヘ出願セシムヘシ
第二條　區長戸長ハ前條ノ願書ヲ受領シタルトキ（戸長ハ奥書スヘシ）若シ段別地價ノ分配上不適當ト視認ムルコトアルトキハ實地臨檢ノ上其旨ヲ說示シ承服セサルモノハ意見書ヲ作リ（戸長ハ郡役所ヲ經由シ）當廳ヘ具申スヘシ

○軍艦發着　鳳翔艦は去る十九日品海拔錨去る二十三日木更津に投錨、玉雲艦は佐世保拔錨去る二十三日長崎に投錨せり

○蠶種の發生　群馬縣那波郡堀口村蠶種家野村藤太なる者蠶種掃立の景況は去る十四日掃立蠶種量又青毛蠶量四匁桑芽を以て五日間飼育し夫より桑葉を與へたり目下既に初眠中なり同十七日掃立ジャロ（イタリヤ種）毛蠶量二匁是亦桑芽を以て五日間飼育し夫より桑葉を與へたり目下初眠に附かんとするの景況なり

○牛馬灸治の儀伺指令　去る十三日群馬縣より獸醫にあらざる者にして歸勞則等も施術營業相成らざる旨縣外一般へ指令ありしが從來の慣行に據り牛馬に灸治を施す則も獸醫に限るべきや果して然らば既に營業とあらずに無實にして自己の技工に任せ牛馬若くは他の依頼に應じ一時牛馬に灸治を施す者あるときは明治十八年公第二十八號第十四條に該當する義なるか將た右所爲の如きは營業とあらずにあらざるを以て取締上後來不問に付し然るべきやと伺出でたるに同二十三日農商務省は免許獸醫にあらざれば施術するを得ずと指令せり

○佛國新定穀物稅議案　本年三月十五日巴里發の電報に據れば佛國代議院に於ては此程佛國の市場に來着すべき穀物は輸入稅に關する法律發布の後に在りては總て成規の如く之に課稅することに議決し又二百四十八名に對する三百十八名の投票を以て穀物の新稅に關する法律を可決したりと云ふ」又同月二十五日同府發の電報に據れば佛國穀物輸入稅を增加する法律議案は此程八十六名に對する百八十六名の多數を以て同國元老院を通過したりと云ふ

○萬國博覽會加盟の謝絕　本年三月二十四日巴里發の電報に據れば獨逸國政府は來る千八百八十九年を以て佛國に開設すべき万國博覽會に加盟協力することを謝絕したりと云ふ

○濠地利國との軍事條約　近刊の澳國比國アヂエック新聞に據れば濠地利及瑞爾比の兩國は此程軍事條約を締結し濠地利國と瑞國と若し事ある場合に於ては瑞爾比國は濠地利國の同盟國たるべき旨を約定したりと本年三月十九日ベルグラード府發の電報に見へたり

○コスタリカー共和國新選大統領　本年三月十八日紐育發の電報に據ればシギロール、エヴアリストー　カラスコーは本年一月一日を以てコスタリカー共和國（中央亞米利加）大統領に選擧せられたりと云ふ
（以上本年四月二十六日官報）

## 雜報

○小金井へ遠乘　岡田侍從廣幡同補公爵鷹司熙通伯爵中院通規子爵裏松良光從五位富小路敬直の諸氏は去る二十四日小金井村へ遠乘仰付られたるよし

○對馬の砲臺　は先頃既に工事に着手したりしが落成豫算は凡そ十八箇月の見込みにて日々殆んど一千人の工夫と使役せ居ると云ふ

○北海道の燈臺　遞信省燈臺局にては北海道沿岸の要地に燈臺を建設の筈にて過般五等技師千種基氏等を派遣し其測量に着手せしめしが同一行は既に歸京したる由にて先づ來年度に於て渡島國松前郡の白神岬後志國積丹郡神威岬日高國幌泉郡襟裳岬の三箇所に新設することに決定したりと聞けり

○清國水兵　客年八月十五日の夜清國水兵暴行の際ふおゐて負傷を蒙りその後長崎病院に入院して專ら治療中なりし清國水兵袁輝、歐國楨、葉孟茂の三名は最早その創部も全癒したるを以て去る十九日退院したるが三名とも同日出港の敦賀丸にて歸國したるよし（本年四月二十日鎭西日報）

○大日本史志類の編修　舊水戸藩にて歷代の大事業と聞へたる大日本史は舊藩の時既に紀傳一百卷の成業上梓せしもなれども志類に至ては先哲も頗る之を難しとせし所にて既に諸大家の手と經て草稿は略ぼ立たれども遂に成業に至らざる間に浮世の變遷、既に廢藩置縣の事ともなり一時は世の樣も改まり人々狼狽の間修史の事など問ふ人さへなき姿なりしが舊水戸家に於ては尙ほ先志を繼ぎ其志類を大成せんと同藩の史家栗田寬氏等に囑托を受け史局を常盤公園外に開き續て修志に從事せしが近年追々上梓せしものは兵志、刑法志、氏族志、職官志、佛事志、禮樂志等よて術殘る所は食貨志、地理志、神祇志、陰陽志等あり都合十志にて全備大成する筈なるが當今は食貨志の編修中にて多分來る七月頃迄には食貨志の成功あるへしと聞けり（本年四月廿五日茨城日報）

○サイベリヤの鐵道　露國政府は南部サイベリヤのベイカール湖より黑龍江のストレンスク迄の間に鐵道を敷設することに決したるがベイカール湖はイルクツクと距る凡そ六十ベルス（一ベルスは三千五百一英尺）にして此新鐵道はダランスベイカリヤ及び黑龍江の二地方を通過する都合にて其敷設と共にベイカール湖及び黑龍江の汽船の數を增加すると云へば露國が危急の場合に於て支那の境界及び浦鹽斯德港へ大軍を出すには頗る便利あるとあらん又此鐵道工事はダランスカスピヤン鐵道の工師なるアルメンコツフ將軍が監督する筈にて速に工事に着手する見積りなりといふ

○地皮錐穿費　近頃北米合衆國にては地皮錐穿費の議案を國會へ提出したるが其見積金高は十萬弗よして合衆國の陸軍工兵隊が其工事を引受け其目的は地球の組織及び地層の性質等の知識を得るに在りと云へり

○相場の傳書鳩　近來戰時の用に供せんとて傳書鳩を

飼養する事は
邊には元來樓
者の多き所あ
を營業とする
柄故毎日大坂
く遠隔にて何
毎日電信と報
に飼ひ置ける
附を縛りて午
三十五分に早
皆歸りしかば
げんとて工風

○熟睡一週間
ファ氏は或る
る末寓居に歸
とあるも目の
れ方便と用ゐて
有名の醫師へけ
ター、ドクトル
ク、ドクトル
の診察を爲し
だ時々譏言を
覺ながら食する
す醫師の說明
ものゝ由なるが
大評判なりとい

○南洋調査會社
地に設置したる
牛場を設け且つ
中なる上津嶋へ
去る十四日銀林
ふりといふ

○金鑛の發見
界は從來確たる
鑛を發見したる
掘り始むる前に
論が惹起すなる
め人と派遣せし
爲し合衆國の滿
あす事あるべし

○山田金庫
る弗箱は世に山
の評判頗る好く
く約定濟になりし

○和解の祝宴
の絹商長谷川重
受けたれども之
於て原裁判を破
所あるが元來同
判然しければ此
く和解したるに
に於て雙方打寄

○巴里の觀象會
モンナエ氏の
ある天象圖を製す
なるが佛國は勿論
を派出し同會議に
ては去月三十日
ふる由倫敦發

○和歌山の養蠶
ふ蠶の繁殖等も中

ロング第三リードル獨案內　定價金

廣告
生儀茨城病院辭職今般越前敦賀病院へ赴任本日出發此段辱知諸君へ御報道仕候也
明治二十年四月廿五日
醫學士　鎌田滿太郎

改良
三德